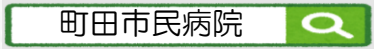




れんけい通信



10月から選定療養費が値上げされます

10月から、初診時の選定療養費（紹介状がない場合の負担金）が従来の5,500円から7,700円（医科）に改定される予定です（歯科は3,300円から5,500円）。

今回の診療報酬改定では、機能分化がさらに推進されるかたちとなりました。特に、急性期医療や集中治療領域に関する見直しは、当院としても自院に求められる役割を再認識するきっかけとなりました。

再診時の選定療養費についても、10月から下表のとおり改訂される予定です。「定額負担を求める患者の初診・再診については、一定の点数が保険給付範囲から控除される」という例外的・限定的な取扱いがされることもあり、患者さんへの説明や運用が複雑になることが予想されます。わかりやすい説明を行い、混乱なく運用ができるよう、対応してまいります。

連携医の先生方におかれましては、以前から患者さんのご紹介時には紹介状を作成していただきありがとうございます。当院から逆紹介にて診療をお願いした患者さんで再度当院を受診する必要がある場合には、大変お手数ではございますが、都度その時点の状態を記載した紹介状をご作成いただきますよう、ご協力お願い申し上げます。

	医科	歯科
初診時	5,500円→7,700円	3,300円→5,500円
再診時	2,750円→3,300円	1,650円→2,090円

感染対策向上加算の連携について

ご存知のとおり、診療所については、新たに外来感染対策向上加算、連携強化加算、サーベイランス強化加算が新設されました。当院は感染対策向上加算1を取得いたしました。個々の診療所様との連携は業務量的に困難になることが予想されるため、外来感染対策向上加算に関しては町田市医師会様を連携先としていただくようお願いをしております。連携強化加算に関しては、町田市医師会様のご協力のもと、7月からは地区ごとに当院または多摩丘陵病院様を連携先とさせていただいております。

連携をご希望の際は、町田市医師会様、または当院医事課医事係へご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

緩和ケア病棟からのご案内

(1) 病棟体制の変更について

2022年4月から緩和ケア部門が新体制に変わりました。

4月から麻酔科部長兼緩和ケア病棟担当部長を務めます櫻本千恵子です。以前から緩和ケアに関心があり、当院の緩和ケア病棟を立ち上げる際にも麻酔科医として協力した経験があります。この度、前任者の退任によりこの業務に関わる機会を頂いて大変嬉しく思い、また責任を感じております。37年間の麻酔科医としての経験を生かして一人でも多くの患者さんの症状緩和に貢献したいと思っています。



入棟を希望される場合は、まず緩和ケア入棟外来を受診していただきます。月・水・木曜日の午後1時と2時から1時間ずつ、合計6枠を設けていますが、状態が変化して迅速な対応が必要な場合は緊急枠で受診いただくこともできます。主治医または在宅医からの要請がありましたら、可及的速やかに入院調整を行います。緊急入院の場合は、できるだけ直接ご入院いただけるようにしておりますが、いったん他病棟に入院していただき、後日転棟していただくこともあります。対象は末期がんの患者さんで、小児以外の全てのがんに対応いたします。今後は非がん患者さんの緩和ケアにも関わられたらと思っています。



長引くコロナ禍により受診控えをして、重篤な状態になってから入院されて直ぐにお亡くなりになる患者さんも多くなりました。高齢化社会に伴い、独居や介護者が認知症で介護力が期待できない事例も多く見られます。これに反して、適切な訪問診療・訪問看護・訪問介護が支えて下さる患者さんは安心して、住み慣れたご自宅で穏やかな最期を迎えられます。

当院は地域医療支援病院ですので、地域の皆様から必要とされ、信頼し満足していただける緩和ケア病棟にしたいと思っております。そのためには在宅医療を支える皆様との連携を密接にとって、在宅が難しくなった場合には速やかに入院していただき、また症状が安定した場合にはご自宅や施設へ戻っていただけるような体制を作りたいと思っております。介護者が疲弊した時、また、緩和ケア病棟を体験してみたいという患者さんには8日以内のレスパイト入院をお勧めします。



入院した場合の最大の弱点はコロナ禍による面会制限が続いていることです。緩和ケア病棟では原則として登録をいただいた方3名が週に2回・30分の面会が可能です。病状の変化に伴って面会をさらに緩和したり、お看取りの際には付き添いも許可しています。今後の感染状況をみながら、従来の24時間自由に面会ができる体制に戻りたいと思っております。

(2) 緩和ケアチームの立ち上げについて

2022年1月に緩和ケアチームを立ち上げました。チーム担当部長は外科の篠田知太郎医師で、精神科医師、緩和ケア認定看護師、薬剤師とチームを組んで院内ラウンドを行い、入院中の患者さんのがんに伴う症状緩和に対応しています。その中で緩和ケア病棟に入棟が適切と思われる患者さんを抽出して転棟に繋げています。各科の医師は受持患者さんの症状緩和に難渋する場合には緩和ケアチームにコンサルテーションする体制ができています。

【お問い合わせ・お申込み先】 月～金曜日 9時～17時まで
町田市民病院 医事課地域連携室 042-722-2230（代表）

当院の地域連携の現状について（医科・歯科）

連携医療機関数	596件	2022年7月末現在
紹介率	74.7%	2021年度実績
逆紹介率	62.9%	

オンライン地域交流会を開催しました

6月23日（木）18時からオンライン地域交流会を行いました。訪問診療を行うクリニックと病院の情報交換を目的として開催し、地域11か所の医療機関のご参加をいただきました。

櫻本副院長の挨拶に続き「町田市民病院の退院支援の現状と訪問診療を選択するとき」というテーマで医療相談室石崎が発表、その後活発な意見交換を行いました。開催後のアンケートでは、次回もぜひ企画をしてほしいというご意見をいただいております、検討していく予定です。



新人職員 & 復職職員の紹介



4月から3年間の休業を経て復職しました小林です。2019.4から2022.3までの丸3年間でアメリカのテキサス州で過ごしてきました。

日本を離れてみて改めて日本の良さを実感しています。

休業前から退院支援看護師として勤務していましたが、コロナ禍で様変わりした現在の状況にまだ戸惑っております。頑張りますのでどうぞよろしくをお願いします。



4月に入職いたしました鈴木です。周囲の方々に支えていただきながら日々励んでおります。

これまで学んだことを実践に移していくということの難しさを実感しておりますが、日々の積み重ねを大事にしていきたいです。患者様ひとりひとりにとってより良い支援のため、努力して参ります。よろしくお願いたします。



ヤー！7月1日付で医事課地域医療係に入職しました、阿部と申します。趣味は旅行とダーツです。今までは他の病院で医事業務や連携業務に携わってきました。この経験を活かし、今後は町田地域において患者さんや先生方のお力になりたいと思いますので“どうぞどうぞ”よろしくをお願いします。

◆ 編集後記 ◆

何の根拠もなく「自分は大丈夫だろうな」などと思っていましたが、とうとうコロナにかかってしまいました。幸い症状は軽快したのですが、なかなか味覚が戻りません。大好きなハイボールも、セメダイン的な風味しかせず悲しい日々を送っています…。周りに相談しても、「減酒できていいんじゃない？」と、てんで相手にしてもらえず困ったものです（涙）。（T）